



# ダイヤナチュラルウレタンシリーズ

**ダイヤ1液ナチュラルウレタン** 1液弱溶剤形セラミック変性ウレタン樹脂塗料  
**ダイヤナチュラルウレタン** 超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドウレタン樹脂塗料  
**ダイヤナチュラルウレタンD** 超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドウレタン樹脂塗料(弾性)

特殊薬剤の配合により、カビに対して強い抵抗力を発揮。下地や既存塗膜種類に係わらず、一般外壁から鉄部塗装まで広範囲な用途に優れた耐候性を実現する弱溶剤系の塗料です。旧塗膜に対する適用性が広くシーラー不要で直接施工できるケースが多いので、新築はもとより塗替えにも最適で工期の短縮が図れ、コストダウンにも貢献します。

## 低汚染

セラミック成分とウレタン樹脂成分とをハイブリッド化させることにより耐汚染性に優れた塗膜表面を形成、長期にわたり美観を守ります。

## 防カビ

塗膜に防カビ性を付与させていますので外壁面のカビを抑制するとともにカビによる塗膜の劣化を防ぎます。

## 鉛フリー

鉛を使用していないため環境に優しく安全性に優れています。

## 耐候型

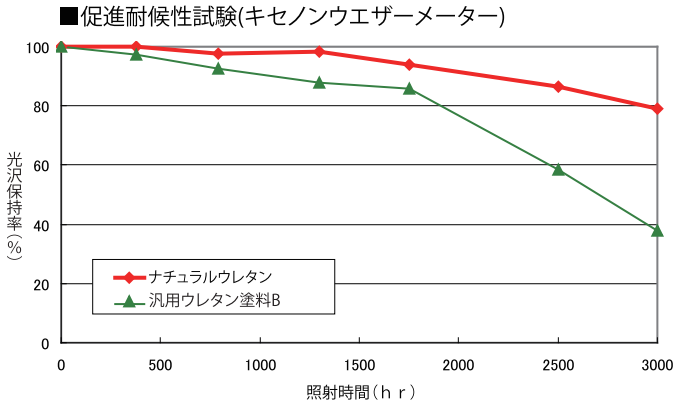
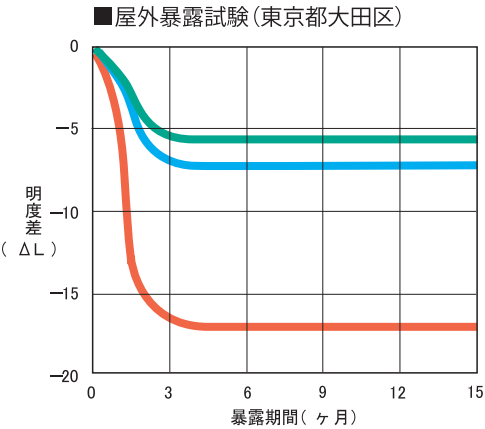
太陽光や雨などの劣化要因に強いセラミック変性したウレタン樹脂が酸性雨や紫外線・熱に対して優れた抵抗力を発揮します。

## 透湿性

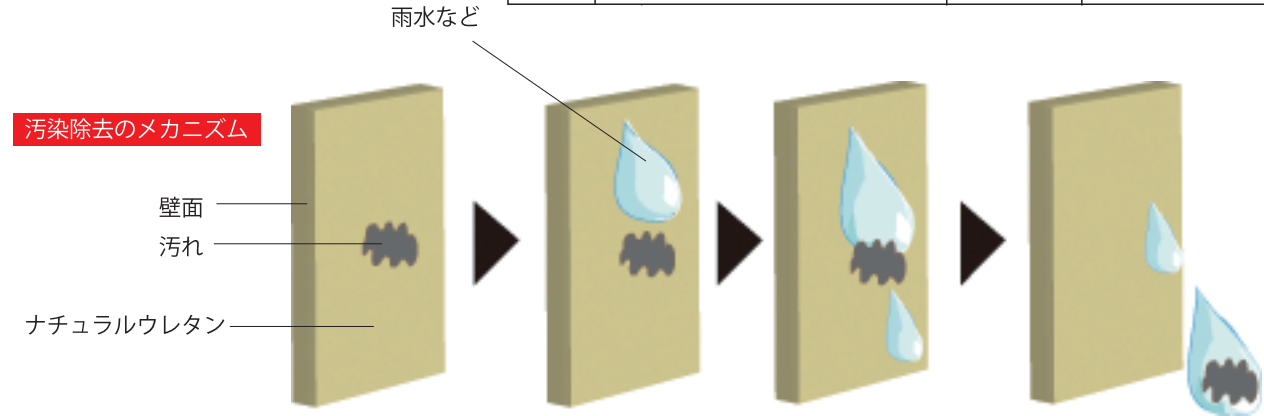
水蒸気を通し水分を通さない塗膜がふくれや室内の結露を防止します。

## 低臭性

溶剤系(強溶剤)塗料に比べ臭気が少なく作業環境の改善に役立ちます。



試験項目	品質基準(耐候形1種)	結果	試験方法
耐候性B法	照射時間 2500 時間で、塗膜に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率 80%以上で、変色の程度がグレースケール 3 号以上であり、白亜化の等級が 1 以下であること	外観異常なし 光沢保持率：81 グレースケール: 4-5 号 白亜化等級： 1	JIS A 6909： ※アクリレスフィラー下地



## ■ 標準仕様 一般外壁:新規・改装下地

工程		材料		調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
							工程内	工程間	
1	下地調整	新規	下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイタンス、エフロは完全に除去し、含水率 1 0 %以下（p H 1 0 以下）に管理して下さい。 豆板、欠け、不陸、目違いなどは、ダイヤカチオンフィラー、セメンシヤス # 2000、セメンシヤス # 2500等で平滑に補修して下さい。						
		改修	各新規・改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去等を行って下さい。						
2	上塗り	ダイヤ 1 液ナチュラルウレタン ダイヤシンナー N                      スプレー 							

※1 間隔時間は、温度23℃温度50%の場合です。冬期、夏期では、温度、湿度によって間隔時間にかなりの差異がありますので注意して下さい。  
※2 所要量は、下地の形状・状態により変動します。  
※3 下地が押出し成型板、GRC板等は下塗材としてダイヤガンシーラーマイルド、ダイヤシーラーエボをご使用下さい。  
※4 ALC面にはダイヤアクリレスフィラー又はダイヤカチオンフィラーで下地調整を行って下さい。  
※5 改装下地のクラック充填処理をする場合は下塗材としてダイヤアクリレスフィラーをご使用下さい。  
※6 旧塗膜がアクリルシリコン樹脂塗料又はフッソ樹脂塗料の場合はダイヤセランプライマーS又はダイヤメンテプライマーTNを下塗材としてご使用下さい。

## ■ 一般外壁:改修仕様(ひび割れ充填仕様)

工程		材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
						工程内	工程間	
1	下地調整	各改装工事仕様に基づいて、劣化部のケレン、補修、汚れの除去等を行って下さい。						
2	下地処理	ダイヤアクリレスフィラー ※ 中毛ローラー	16 kg 1.0～1.3㎡	0.3～0.5kg/㎡	1	—	5時間以上	左参照
		清水 多孔質ローラー	0.5～0.8㎡	0.8～1.0kg/㎡	1	—	16時間以上	
3	上塗り	ダイヤ1液ナチュラルウレタン ダイヤシンナーN           スプレー 刷毛・ローラー	15kg 1～2㎡ 0～1㎡	0.25～0.35kg/㎡ 42～60㎡/缶	2	3時間以上 7日以内	—	刷毛 中毛 ローラー エアレス
		ダイヤナチュラルウレタン   A液 B液 ダイヤシンナー N           スプレー 刷毛・ローラー	12kg 2kg 1～2㎡ 0～1㎡	0.25～0.35kg/㎡ 40～56㎡/セット	2	3時間以上 7日以内	—	刷毛 中毛ローラー エアレス

※シリコンエポキシ樹脂を使用した「ダイヤアクリレスエボ」もご使用いただけます。  
※ダイヤアクリレスフィラーの塗膜が薄い場合、旧塗膜の種類によっては仕上材のリフティングの現象(縮み)が発生する事があります。特に溶剤・弱溶剤の上塗りを使用する際、ダイヤアクリレスフィラーを中毛ローラーで施工する場合は2回塗(塗布量:0.6kg/㎡以上)を推奨します。

## ■ 鉄部:新規・改装下地

工程		材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
						工程内	工程間	
1	下地調整	塗装下地のゴミ、汚れ、油脂類などを取り除いて下さい。旧塗膜の活膜を残して、劣化膜やさびをワイヤーブラシ、サンドペーパー等による手ケレンや電動工具により十分にケレン除去し、清掃します。鉄部が露出した箇所や溶接部はダイヤヒスイエボサビ # 100、又はダイヤヒスイエボサビ # 200 A で拾い塗りして下さい。						
2	下地処理 (1液の場合)	ダイヤヒスイエボサビ # 1 0 0 ダイヤシンナー N	15kg 0～6 <sup>㎡</sup> <sub>缶</sub>	0.14～0.16kg/㎡ 94～107㎡/缶	1	—	4 時間以上	刷毛 中毛ローラー
2	下地処理 (2液の場合)	ダイヤヒスイエボサビ # 2 0 0 A A液 ダイヤヒスイエボサビ # 2 0 0 A B液 ダイヤシンナー N	14.4kg 1.6kg 0～2 <sup>㎡</sup> <sub>缶</sub>	約0.16kg/㎡ 約100㎡/セット	1	—	4 時間以上 7 日以内	刷毛 中毛ローラー
3	上塗り	ダイヤ 1 液ナチュラルウレタン ダイヤシンナー N                      スプレー 						

※下地がアルミ、ステンレス(SUS 304以外)の場合にはダイヤハイエボプライマーをご使用下さい。  
※ダイヤヒスイエボサビ#100、ダイヤヒスイエボサビ#200Aの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合は点錆が発生する恐れがあります。  
※ダイヤナチュラルウレタンの場合はダイヤヒスイエボサビ#200A、ダイヤ1液ナチュラルウレタンの場合はダイヤヒスイエボサビ#100を推奨します。